



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0003967

# 橋本鉄工 株式会社

## 2020年度 環境経営レポート

(対象期間：2019年10月～2020年 9月)



発行日：2020年12月22日

# 環境経営方針

## <環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、

社は『技術の創造・家庭の創造・顧客の創造』

を基本理念とし、当社事業である精密板金加工品の製造はもとより、社員一人一人の自覚を促し、企業活動全般にわたり環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

## <環境保全への行動指針>

1. 次の事項について目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
  - ・ 電力(工場、事務所)
  - ・ LPガス(工場、食堂)
  - ・ 灯油(暖房用)
  - ・ 自動車燃料(営業車、トラック)
- ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
  - ・ 一般廃棄物(可燃ごみ)
  - ・ 事業不要物(ステンレス、鉄、アルミ)
- ③ 排水量の削減(水資源の保全)
  - ・ 水使用量の削減
- ④ グリーン購入
  - ・ 外注先のメッキ、塗装のクロムフリー
  - ・ 材料の購入
- ⑤ 環境への配慮
  - ・ 材料ロスの削減

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境保全の取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

4. この方針は全従業員に周知します。

制定日：2008年12月17日

改訂日：2013年 8月31日

確認日：2019年 10月 1日

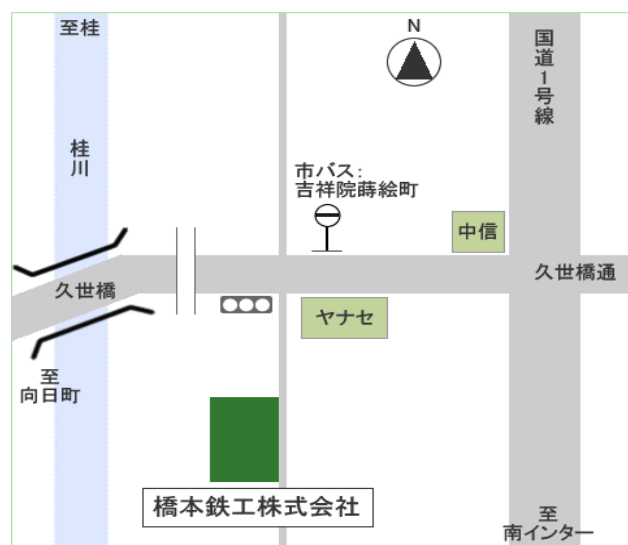
代表取締役社長

橋本善博



## 登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名  
橋本鉄工 株式会社  
代表取締役社長 橋本 善博
- (2) 所在地  
京都市南区上鳥羽戒光29番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び事務局連絡先  
責任者 斉藤 稔治 TEL: 075-672-3331  
事務局 古賀 幹人 TEL: 075-672-3331
- (4) 認証・登録の対象範囲  
対象組織: 本社  
対象活動: 精密板金加工品の製造・販売
- (5) 事業内容  
精密板金加工品の製造・販売
- (6) 事業の規模  
製品出荷額 2.3億円 (2019年度実績)  
従業員 19名  
敷地面積 665㎡  
資本金 1000万円
- (7) 事業年度 10月～翌年9月  
(今回の環境経営レポートの対象期間は2019年10月～2020年9月まで)
- (8) アクセス



京都駅から市バス15分「吉祥院蒔絵町」下車  
京都南インターから京都市内方面へ車で5分

# 主要設備



レーザー切断機	1台
パンチ・レーザー複合機	1台
サーボブレーキプレス	2台
油圧ブレーキプレス	6台
三次元測定機	1台
	その他


## ◇ ネットワーク（外注等） ◇

製缶加工	:	溶接、機械加工、etc
精密機械加工	:	マシニングセンター、研削加工、etc
精密旋盤加工	:	NC旋盤、汎用旋盤、etc
塗装	:	焼付塗装、電着塗装、etc
メッキ	:	電気メッキ全般
アルマイト	:	アルマイト（白・黒・硬質）、etc
研磨	:	電解研磨、化学研磨、バフ研磨、etc

# サンプル

	材 質	S U S 304 t 1.0
	サイズ	90 × 40 × 35mm
備考：超音波洗浄		

	材 質	S U S 316 t 1.0
	サイズ	300 × 300 × 480mm
備考：純水洗浄		

	材 質	S U S 304 t 1.5
	サイズ	90 × 80 × 80mm
備考：9 部品溶接組立		

	材 質	S U S 304 t 1.0
	サイズ	185 × 90 × 20mm
備考：バフ研磨		

	材 質	S U S 316 t 1.0
	サイズ	150 × 150 × 100mm
備考：電解研磨		

	材 質	C 2680 t 0.5
	サイズ	50 × 15 × 7mm
備考：クロームメッキ		

	材 質	S U S 304 t 1.2
	サイズ	22 × 24 × 10mm
備考：旋盤部品溶接		

	材 質	S P C C t 1.6
	サイズ	280 × 130 × 30mm
備考：クロメート		

## 主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量合計 (対象:エネルギー総量)	kg-CO <sub>2</sub> /年	98,200	100,631	120,010	132,578	129,356
電力使用量	kWh/年	159,968	164,784	162,549	172,216	168,627
灯油使用量	L/年	1,386	1,350	1,386	3,092	2,358
ガソリン使用量	L/年	1,853	1,787	1,613	918	849
軽油使用量	L/年	2,349	2,356	2,259	3,710	4,069
LPG使用量	kg/年	258.75	305.76	245.93	182.80	238.46
廃棄物排出量	t/年	0.93	0.98	0.96	1.53	1.27
事業不要物排出量	t/年	7.18	7.05	7.02	6.87	6.59
総排水量	m <sup>3</sup> /年	330	337	332	301	315

注) 2018, 19年度の電力二酸化炭素排出係数は(株)USENの2017年度実績の実排出係数0.653kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

## 環境経営目標

項目	年度	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		(基準年度)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub> /年	120,010	117,610 98%	116,410 97%	115,210 96%	114,010 95%
電力使用量の削減	kWh/年	162,549	159,298 98%	157,673 97%	156,047 96%	154,422 95%
灯油使用量の削減	L/年	1,386	1,358 98%	1,344 97%	1,331 96%	1,317 95%
ガソリン使用量の削減	L/年	1,613	1,581 98%	1,565 97%	1,548 96%	1,532 95%
軽油使用量の削減	L/年	2,259	2,214 98%	2,191 97%	2,169 96%	2,146 95%
LPG使用量の削減	kg/年	245.93	241.01 98%	238.55 97%	236.09 96%	233.63 95%
廃棄物の削減 (一般廃棄物)	t/年	0.96	0.94 98%	0.93 97%	0.92 96%	0.91 95%
事業不要物(ステンレス、鉄、アルミ)の削減	t/年	7.02	6.88 98%	6.81 97%	6.74 96%	6.67 95%
節水	m <sup>3</sup> /年	332	325 98%	322 97%	319 96%	315 95%
グリーン購入	・外注先のメッキ・ 塗装のクロムフリー ・クロムフリー材料の 購入	グリーン購入100%	15/15 100%	15/15 100%	15/15 100%	15/15 100%
環境への配慮		材料ロス21%	材料ロス19%	材料ロス18%	材料ロス17%	材料ロス16%

注) 電力二酸化炭素排出係数は(株)USENの2017年度実績の実排出係数0.653kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

注) グリーン購入に於ける分子・分母は、グリーン購入先件数/購入先件数とする

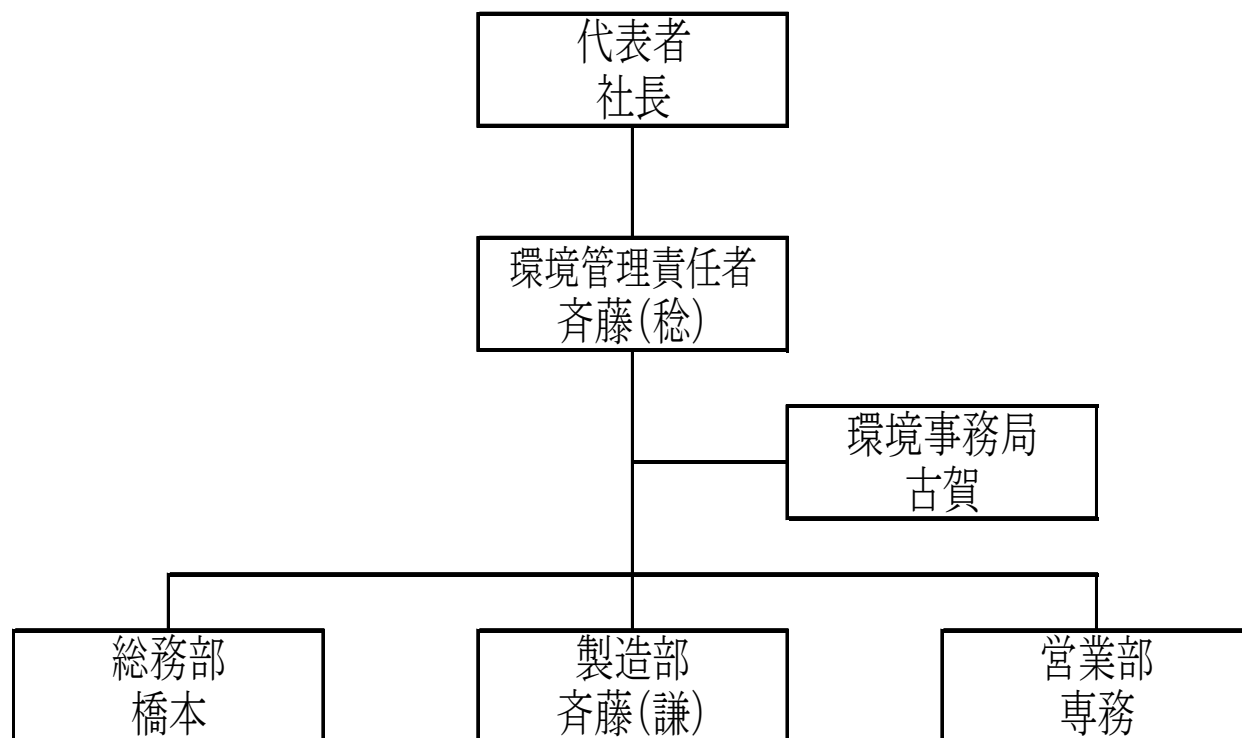
注) 産業廃棄物の排出はほとんどなく、事業不要物は有価物として売却している。

## 環境経営の取り組み計画と評価

2019年10月～2020年9月までの目標と実績について評価を行った。

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比 対目標比	評価（結果と今後の方向）
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> ・ 下記の各項（①～⑤）による。	基準年度	120,010	kg-CO <sub>2</sub>	<b>目標未達成</b> 今年度は前年度の結果を踏まえて見直しを行い全社を挙げて取り組んだ結果、前年度比2%の削減に成功した。目標は未達成となったが、今後も計画通りエコアクションを行い取り組んで行く。
	目標	117,610	98%	
	実績	129,356	110%	
	達成率	91%		
<b>①電力使用量の削減</b> ・ コンプレッサの計画運転 ・ 工作機械の計画的使用 ・ 不使用工作機械の電源オフ ・ クールビズの励行	基準年度	162,549	kWh	<b>目標未達成</b> 今年度は特にコンプレッサの計画運転に力を入れ、他の取り組みも併せて努力しましたが目標には達する事は出来ませんでした。使用量の実質上の削減には成功しておりこの調子で今後も取り組んで行く。
	目標	159,298	98%	
	実績	168,627	106%	
	達成率	94%		
<b>②灯油使用量の削減</b> ・ 計画的にストーブを使用する工夫 ・ サーキュレータ使用 ・ ウォームビズ	基準年度	1,386	L	<b>目標未達成</b> 今年度は前年度過去最高の使用量を記録して、全社一丸となって何とかしようとして取り組んだ結果734L(18L缶で約40缶)の削減に成功した。目標は達成出来なかったが今後も力を入れていく。
	目標	1,358	98%	
	実績	2,358	174%	
	達成率	58%		
<b>③ガソリン使用量の削減</b> ・ 日頃の点検整備の充実 ・ 計画運行の徹底 ・ アイドリングストップの励行	基準年度	1,613	L	<b>目標達成</b> 今年度は計画運行の徹底等に更に力を入れて営業担当者の方々が努力を重ねて取り組んだ結果、前年を上回る好成績で目標を達成する事が出来た。今後もこの調子で取り組んで行く。
	目標	1,581	98%	
	実績	849	54%	
	達成率	186%		
<b>④軽油使用量の削減</b> ・ 日頃の点検整備の充実 ・ 計画運行の徹底 ・ アイドリングストップの励行 ・ 燃費管理の実施	基準年度	2,259	L	<b>目標未達成</b> 今年度は昨年の結果を踏まえて取り組んだが仕事量が増加した事も有り、更にそれに比例した使用量となってしまった。次年度は取り組み計画に沿って更に力を入れた取り組みを行い努力して行く。
	目標	2,214	98%	
	実績	4,069	184%	
	達成率	54%		
<b>⑤LPG使用量の削減</b> ・ 種火の消火 ・ 利用方法の工夫 ・ LPGの計画的使用	基準年度	245.93	kg	<b>目標達成</b> 今年度も利用方法の工夫等の取り組みを全員が力を合わせて行った結果、目標を達成する事が出来た。しかし使用量は実質増加している為、今後は気を引き締めて取り組んで行く。
	目標	241.01	98%	
	実績	238.46	99%	
	達成率	101%		
<b>廃棄物の削減 （一般廃棄物）</b> ・ 廃棄物を減らす努力 ・ 分別回収の実施	基準年度	0.96	t	<b>目標未達成</b> 今年度は特に力を入れて全員が一丸となって廃棄物を減らす努力等の取り組みを行った結果、前年度に比べて0.26tの削減に成功した。目標には達しなかったがこの調子で継続して行く。
	目標	0.94	98%	
	実績	1.27	135%	
	達成率	74%		
<b>事業不要物（ステンレス、鉄、アルミ）の削減</b> ・ 事業不要物の有効利用	基準年度	7.02	t	<b>目標達成</b> 今年度も事業不要物の有効利用を計画通りに行った結果、目標を達成する事が出来た。今後も継続して取り組んで行く。
	目標	6.88	98%	
	実績	6.59	96%	
	達成率	104%		
<b>節水</b> ・ 計画的な水の利用 ・ 雨水利用の工夫 ・ 水使用方法の工夫	基準年度	332	m <sup>3</sup>	<b>目標達成</b> 今年度も計画的な水の利用等の取り組みを全員で力を合わせて行った結果、目標を達成する事が出来た。LPG同様使用量は実質的に増加しているので気を引き締めて取り組んで行く。
	目標	325	98%	
	実績	315	97%	
	達成率	103%		
<b>グリーン購入</b> ・ 適正なメッキ、塗装工場の選択 ・ 適正な仕入先からの材料購入	基準年度	グリーン購入100%		<b>目標達成</b> 今年度も適正なメッキ、塗装工場の選択と適正な仕入先からの材料購入を行った結果、目標を達成する事が出来た。今後もこの調子で継続して取り組んで行く。
	目標	15/15	100%	
	実績	15/15	100%	
	達成率	100%		
<b>環境への配慮</b> ・ 製造過程において材料のムダを無くす工夫をする。 ・ 環境に優しい製品加工の工夫	基準年度	材料ロス21%		<b>目標未達成</b> 今年度は環境に優しい製品加工の工夫等の取り組みを継続して行ったが、結果として目標には届かなかった。次年度は材料ロスを減らす様力を入れて取り組んで行く。
	目標	材料ロス19%	98%	
	実績	材料ロス22%	116%	
	達成率	86%		

## 環境経営システム組織図



## 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物（紙、生ごみ等）の適正処理	遵守
消防法	消火器の定期点検の実施	遵守
騒音規制法	騒音基準（8時～18時）65dB以下	遵守
振動規制法	振動基準（8時～19時）65dB以下	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検の実施と記録・廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

## 外部からの苦情等の受付状況

- ・外部からの苦情等ありませんでした。

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

### 総括

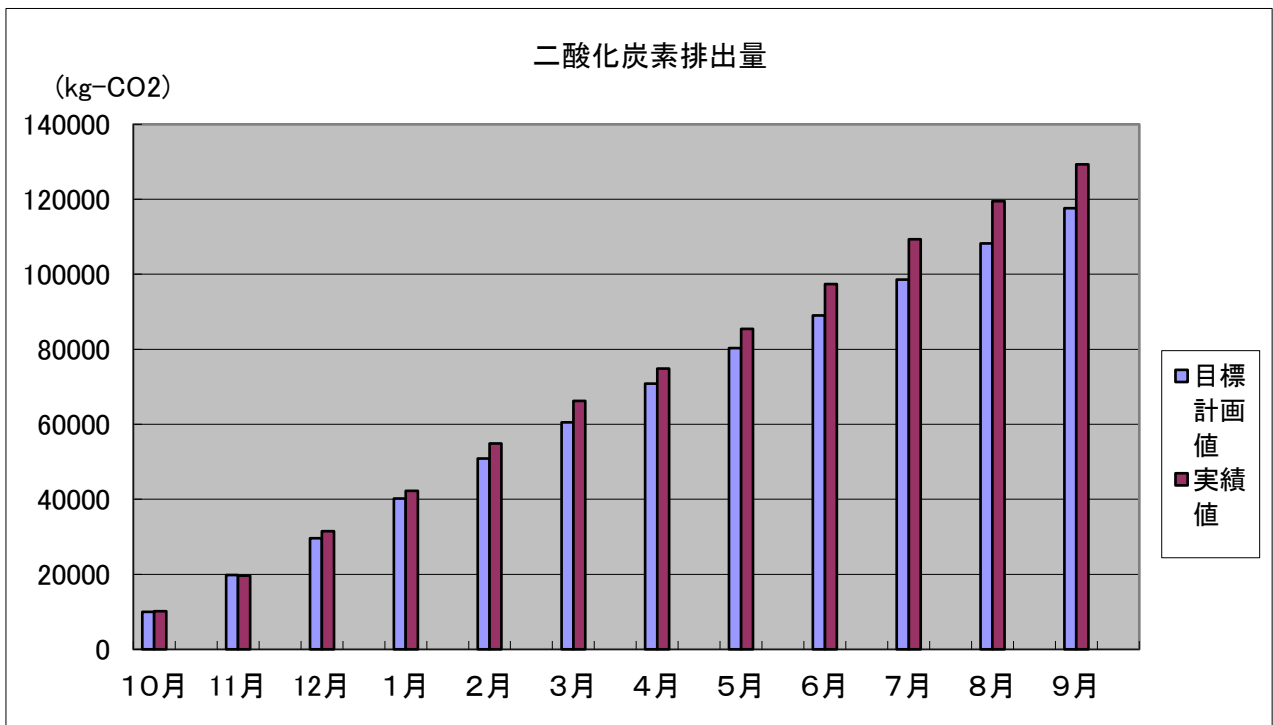
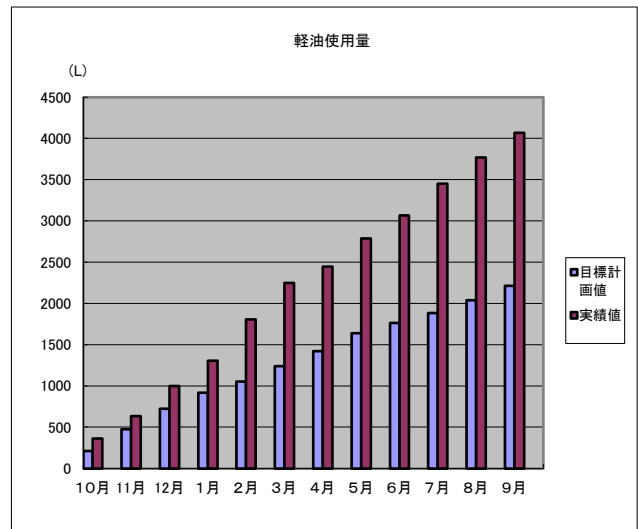
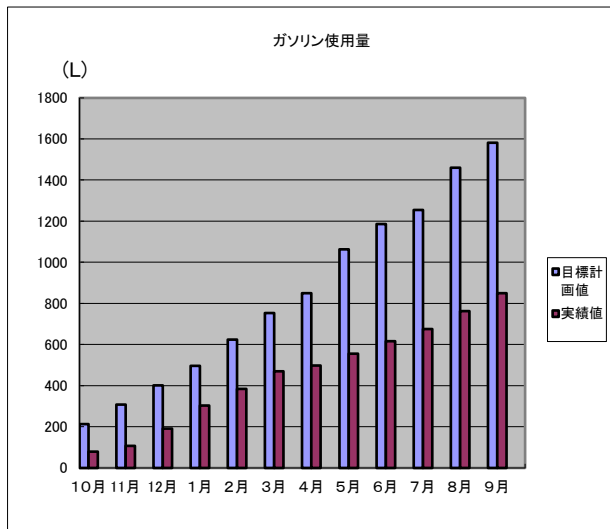
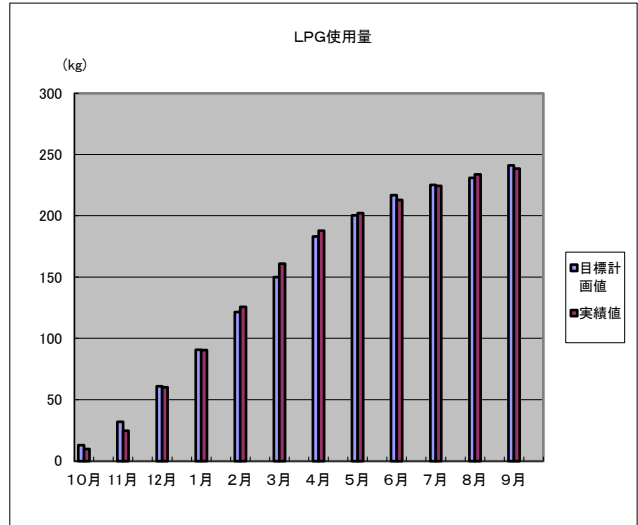
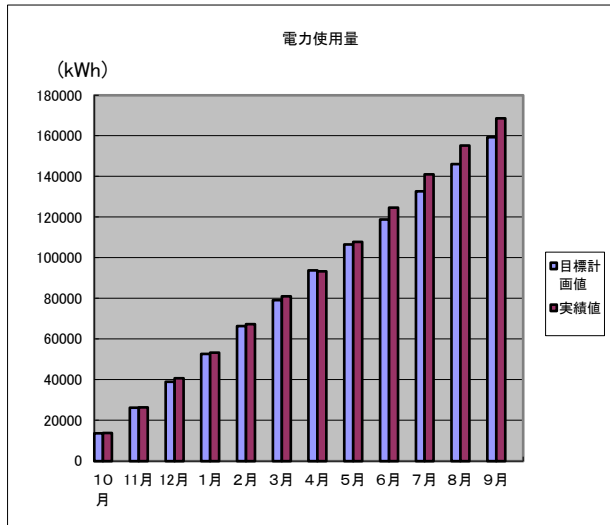
・今年度は、前年度EA21の取り組みを始めて初の二酸化炭素排出量に於ける目標未達成となってしまった事を踏まえて、全社一丸となり厳しくかつ力を入れて取り組んで参りました。残念ながら今年度も目標とする所の数値には到達する事は出来なかったのが現実で、しっかりと反省しなければなりません。しかしEA21の取り組みは確実に結果として良い方向に表れています。電力使用量、灯油使用量は前年度より少なくなっています。そして何より二酸化炭素排出量は前年度の2%減に成功しています。この事は全員が努力し地球の温暖化ストップを念頭に置いて取り組んで来た証であると誇りに思います。ただし、それに甘んじる事なくもう一度取り組み計画について改善する所が無いのか、検討して行く事が必要であると考えられます。初心に戻って地球への思いやりと、仕事の両輪をうまく回してEA21の取り組みを更にステップアップして行く所存であります。

代表取締役社長 橋本善博  
2020年12月22日





# 2020年度活動実績グラフ



・このグラフは累積数値を元にして作成しています。

# 呼びかけポスター

